

「自分らしく生きる」高齢者をご紹介！

これから年を重ねていく区民の皆さんに、高齢になったときの生活をイメージしていただき、誰もが自分らしく暮らすことができる環境づくりを目指した取り組みです。

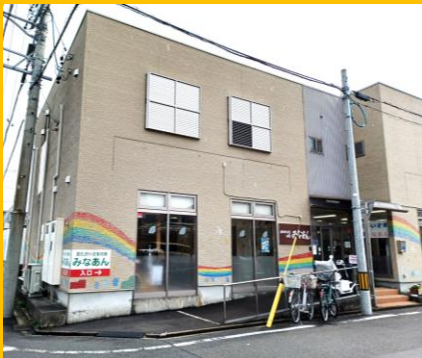
## みなあん誕生物語 ～地域再生に挑む～

「ここに来たら何とかなる」。そんな地域の拠点を目指して9年前に開設した「おたがいさまの家みなあん」。今では、ふれあい給食会やサロン、ボランティア団体“男塾”など様々な活動が行われている。みなあん誕生、地域再生に挑む道のりについて、運営する松下繁行さん（74）さんの半生を振り返りながら話を聞いた。



松下 繁行さん

### 名南中学校の南！



おたがいさまの家  
みなあん  
(南区三吉町6-25)

地域の人が集い、様々な催しや活動を通して交流できる地域の拠点

“みんなあんき  
(気楽)に”が語源

松下さんは約40年間、機械工具メーカーの営業マンとして全国各地に赴任した。取引先から信頼されて業績を上げ、社内の人望も厚かった。出世街道を駆け上がり、次期社長が目前に迫った2008年、リーマン・ショックが起こった。

世界的な株価下落、金融不安で、好調だった松下さんの会社もあつという間に経営に行き詰まり、外国企業に買収された。新しい首脳陣とのやり取り、会議は全て英語で進められ、日常が一変した。

リストラの責任者に任命され、部下たち一人ひとりと面談する日々が続いた。「どんだけ会社に尽くしてきたと思ってんだ。バカヤロー!」。激しく罵倒されることもしばしば。解雇を告げた職員は34、5人に上った。

しだいに食事が摂れなくなり、夜も眠れず、体重が激減した。そんな様子を見かねた妻が「命が大事だで戻りゃあ」と、単身赴任先の関西に乗り込み、松下さんを名古屋市に連れ戻した。59才だった。

## ひまか？集まろまい



当初は自宅にこもって過ごしたが、少しずつ体力が回復し、周りの状況が把握できるようになると、18年ぶりに戻った自宅周辺の地域は、高齢化が進んで地域のつながりが薄れ、孤独死が頻発。「私の心より、地域はもっと壊れていた」。松下さんは「昔のまちを取り戻したい」と立ち上がった。

まず、困っている人の手助けをするため、男性のボランティア団体“男塾”を立ち上げた。松下さんは「家でぶらぶらしてる男たちを何とかせないかん」。定年後の時間に余裕がある近所の男性たちに声をかけた。

かつては「眠る時間を削って高度経済成長時代を支えてきた男たち」。“リニアモーターを作ったのはオレ”“アメリカに給湯器を広めたのはオレ”。過去の栄光はさておき「いったん普通のおじさんに戻って初めて人の痛みや困りごとに気付くことができた」と話す。

## 普通のおじさんに戻って 地域のヒーローに“男塾”出動！



最初の1、2年は参加者も少なかったが、13年経った今では、拠点をかなめ病院ロビーから「みなあん」に移し、総勢25人のメンバーが活動。南医療生協の地域ボランティア団体として、庭の手入れや家具の移動など、年間100件ほどの困りごとに対応している。



ときには南生協病院研修医や南区社会福祉協議会職員もいっしょに作業



**おたがいさまサポーター大募集！  
交流会を通して地域の人によびかける**



現在、「みなあん」では男塾の他、ふれあい給食会やサロン、体操教室が開催され、地域ささえあいセンターを併設。“子ども広場”や外国の子どもに日本語や勉強を教える“多文化学びの場”など、高齢者だけでなく多世代の人がつながりを深める拠点になっている。

松下さんは「まちをつくっているのは一人ひとり。一人ひとりがまちを支えているんだよ」と話す。誰もが主役で、誰にでもやさしいまち。松下さんが起こした活動は、生協の枠を越えて様々な人を巻き込みながら、多くの仲間を支えられ、地域再生を着実に推し進めている。

## ふれあい給食会

住民が楽しみにしている月1回の“ふれあい給食会”。お昼になると90人近くの人が入れ代わり立ち代わりやってくる。カレーライスにサラダ、コーヒーゼリーがついて400円。やさしい家庭の味が評判だ。近所の女性（80代）は「毎月来ます。カレーが美味しい、いろんな人に会えるのも楽しみ」と話す。



かなめ病院が近くにあり、医師や職員、デイケアのリハビリスタッフも多数利用。「調子はどう？」「まあまあ、良い時も悪い時もあるわね」等、住民との気軽な会話があちこちから聞こえてくる。

“男塾”が栽培した無農薬野菜を一部使用。ボランティアで運営され、料理上手な人が調理し、動ける人が接客する。受付でお客様を出迎えるのは村松郁子さん（92）と齊田和代さん（88）。齊田さんは「足は思うようにならないけど、これくらいはできるから」と話す。

笑顔と活気に満ちた給食会は、“おたがいさま”を体現し、顔の見える関係づくりに一役買っている。

**和気あいあい。おもてなしの  
準備をするボランティアさん**



**大盛りも400円 おかわりOK！**